



新体育館 完成



地域と歩む人づくりの拠点



健全な心身を
育む場に
学校法人中村学園
理事長 中村 紘右

2024年に創立70周年を迎える中村学園は、学園祖中村ハル先生の教育理念に基づき、一貫して人間教育を実践してきました。その中でも中村学園女子高等学校は、健やかな心と身体を育む部活動において、日本一連覇といった優秀な成績を収めてきました。

旧体育館は1968年に建設された建物で、様々な体育館競技において現在の公式コートサイズに対応出来ないなどのため、2018年より新体育館への建て替え計画を進めてきました。建て替えの際には、限られた敷地内で生徒の教育活動への影響を最小限にするため、旧体育館横の敷地に新体育館のサブアリーナを先に建設しました。

サブアリーナで体育館での授業を行える環境を整備した後に旧体育館を解体し、新体育館を増築する計画を採用したことで工期が長くなりましたが、コロナ禍の建築工事であったにも関わらず設計施工に関わられた皆様のおかげで、体育館での教育活動を止めずに続けることが出来ました。

新体育館の天井高は最大12m確保しつつも建物自体の高さは抑えた設計で、地域の方への騒音やプライバシーにも配慮して整備されており、今後も地域の発展と共に生徒の健全な心身の成長に寄与する施設となることを願っています。

設計コンセプト

体育館の建て替えにあたり、全く体育館が無い状況回避すべく、工事を2期に分ける計画としました。

工事が2期に分かれていることと、周囲への圧迫感軽減という観点から、建物ボリュームを四つの体育施設+部室棟の五つに分節し、中庭を含む豊かな共用部でつなぐ構成としました。

校舎とは既存の道路上空通路を延伸し接続しています。

自然生かし、交流を誘発

新体育館は高校校舎の特徴を引き継ぎ、三つのコンセプトを軸に設計しました。

一つめは「キャンパスアイデンティティの継承」です。校舎の赤い縦基調のデザインエッセンスを継承し、新体育館にも同色のルーバーを設けました。これは校舎を含む施設全体の連帯感に寄与するだけでなく、南西面の日射遮蔽および外部からの視線を効果的に遮る配置をシミュレーションにて導き出し、構成しています。

二つめは「自然を感じる学校」であることです。共用部には光・風・緑を取り込む中庭があり、自然採光・自然換気が行える計画としました。また、福岡市の主風向である南北方向の風を効果的に取り入れられるよう、各体育施設には南北面に換気のできる窓を設けています。

三つめは「コミュニケーションを誘発する施設」であることです。中庭や吹抜けを介して視線が通り、様々な活動のシーンを感じられる計画としています。随所にベンチを設け、仲間とのコミュニケーションにも寄与する体育館を目指しました。

バンデミックを経て改めて見直されている、「自然と人」または「人と人」との明るく活き活きとした繋がり、この体育館で育まれていくことを期待しています。

株式会社日建設計 設計グループ

リ ヨンソク 古川 智子



上空から見た敷地

■ 名称	中村学園体育館
■ 所在地	福岡市城南区鳥飼7丁目11番1ほか
■ 建築主	学校法人中村学園
■ 設計・監理	株式会社日建設計
■ 施工	株式会社鴻池組九州支店
■ 敷地面積	6,691.60㎡
■ 建築面積	4,456.72㎡
■ 構造・規模	RC一部SRC、S造3階建て延べ6,981.38㎡
■ 工期	2020年4月7日～2023年6月30日

施工のポイント

1期工事で敷地東側の駐車場とテラスコートがあった位置にサブアリーナと部室棟を新築して引き渡し、2期工事で敷地西側の既存の体育館と武道場を解体しメインアリーナ・武道場・多目的室を新築しました。これらの中央には5棟をつなぎ、1階天井内に電気の幹線設備を集約するブロンナードがあり、最後に行つこの工事は工期が逼迫(ひっばく)しました。

中間断熱で内外壁を同時打設

放し仕上げとし、全ての棟の外壁は木材の破片を積み重ねて接着するOSB型枠を使うことでやや荒々しい打ち放し仕上げとなつていきます。OSB型枠の端材は部室棟などの内装に再利用しました。

住宅地で既存校舎にも隣接しているため、騒音と振動には非常に配慮しました。ブロンナードに電気を引き込むために既存校舎に立ち入る必要があり、この工程では学校法人様に特段のご協力を頂きました。コロナ対策にも万全を期しました。

スポーツ強豪校の体育館を造るといふことで誇らし、身の引き締まる思いで施工に当たりました。生まれ変わった体育館で生徒の皆様がさらに研さんを積み、新たな歴史を作られることを祈念しております。



多目的室



コリドール



エントランス



南西側からの外観



中庭



武道場

Ⅲ 建築工事 Ⅲ



株式会社 鴻池組

九州支店

執行役員支店長 川 端 陽 一

福岡市中央区長浜 1-1-35 電話 092-721-5025

■ 電気設備工事・機械設備工事 ■ 株式会社 九電工 福岡支店 専務執行役員福岡支店長 北川 忠嗣 福岡市南区那の川 1-24-1 電話 092-525-2700 ■ 金属工事 株式会社 アイ・エム 愛知県刈谷市高松町 2-11-1 電話 0566-24-1115 ■ 造園工事 安藤造園土木 株式会社 福岡市早良区西新 2-1-54 電話 092-841-4141 ■ 塗装工事・吹付工事 井上ビルド工業 株式会社 北九州市戸畑区牧山 2-9-3 電話 093-871-6619	■ 金属工事 MI万世ステンレス 株式会社 福岡市博多区西月隈 1-14-79 電話 092-411-4330 ■ 外構工事 大林道路 株式会社 九州支店 福岡市博多区博多駅前 3-2-1 電話 092-432-0884 ■ 鉄筋工事 株式会社 尾木建工 北九州市小倉南区企救丘 5-18-5 電話 093-962-6595 ■ 内装仕上工事 株式会社 屋幸 福岡市中央区白金 1-16-26 電話 092-521-1938 ■ ステンレス建具・自動ドア工事 オリエント産業 株式会社 福岡市中央区舞鶴 1-4-19 電話 092-781-7563	■ 特殊型枠工事 有限会社 環境造形 山口県周南市古泉 3-8-25 電話 0834-63-1980 ■ 鉄骨工事 九州第一工業 株式会社 福岡市西区小戸 4-29-50 電話 092-894-6800 ■ コンクリート打放し面仕上げ工事 有限会社 九州TBK 福岡県糟屋郡志免町利府 1-2-22 電話 092-935-3965 ■ 屋根・金属工事 株式会社 協和 福岡市博多区竹下 2-4-8 電話 092-431-4232 ■ 左官工事 株式会社 クリエイトプロダクト 山口県下関市萩根本 2-10-14-205 電話 083-227-2838	■ 造作・家具・木製建具工事 株式会社 昂洋 福岡県太宰府市朱雀 2-20-15 電話 092-555-9207 ■ 体育施設工事 コスモティエス 株式会社 福岡市博多区西月隈 6-4-55 電話 092-586-7182 ■ 昇降式大型電動間仕切工事 コトブキシーティング株式会社 教育施設本部 東京都千代田区神田駿河台 1-2-1 電話 03-5280-5602 ■ 鋼製床工事・フローリング工事・研磨・ウレタン塗装工事 株式会社 三洋工業九州システム 福岡市博多区諸岡 3-20-17 電話 092-501-3001 ■ 山留工事 重設工業 株式会社 福岡県糟屋郡粕屋町内橋東 2-12-5 電話 092-938-1700	■ 杭工事 住吉工業 株式会社 福岡市城南区長府扇町 1-23 電話 083-248-1223 ■ 山留工事 太洋ヒロセ 株式会社 福岡市博多区奈良屋町 2-1 電話 092-283-7320 ■ 型枠工事 株式会社 高崎組 福岡市城南区東油山 6-11-13 電話 092-871-1189 ■ 鋼製建具工事 日章興産 株式会社 福岡県糟屋郡粕屋町大字仲屋 2813-1 電話 092-611-4271 ■ とび・土工工事 株式会社 ハナヤマ 福岡市東区松島 1-28-36 電話 092-409-8906	■ 鉄筋工事 福岡鉄筋工業 株式会社 福岡市東区土井 2-1-8 電話 092-691-9611 ■ タイル工事 不二窯業 株式会社 福岡営業所 福岡市博多区奈良屋町 11-8 電話 092-281-0378 ■ 硝子工事 株式会社 森硝子店 福岡市博多区博多駅前 3-18-4 電話 092-431-7811 ■ クレーン工事 株式会社 ロレガクレイン 福岡県春日市上白水 1-10 電話 092-707-9300 ■ アルミ製建具工事 YKK AP 株式会社ビル建材事業部 九州支店 福岡市博多区博多駅前 3-8-10 電話 092-436-4521
--	---	--	---	---	--